

肥前さが幕末維新の「志」展 —北へ南へ、佐賀人が道を拓いた—

【会期】 平成30(2018)年11月1日～平成31年1月14日(72日間)

【会場】 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 御小書院(特別展示室)／外御書院三乃間

明治維新の北海道開拓や沖縄県政、危機管理等に「志」をもって取り組んだ佐賀人島義勇、鍋島直彬(なおよし)、十一代齋藤用之助の事績を紹介する。

佐賀市と久米島との多様な相互交流、島義勇顕彰祭への佐賀県からの参加など、島義勇や十一代齋藤用之助を軸とした現在の佐賀と北海道、佐賀と沖縄の交流も紹介する。



明治36(1903)年に大噴火した沖縄の硫黄島から全島民を無事に久米島へ避難・移住させた他、港の開削、製糖業の振興などにも功績を残した

十一代齋藤用之助



初代沖縄県令に就任し、「旧慣温在」の政策を展開した鹿島藩最後の藩主

鍋島直彬



安政3(1856)年から翌年にかけて鍋島直正の命により蝦夷地・樺太を調査し、明治2(1869)年に開拓判官に就任、札幌に「五州第一の都」を造ると本府建設に着手した

島義勇

1868  2018

肥前さが幕末維新博覧会

佐賀さいこう博
150th ANNIVERSARY

2018 3.17 - 2019 1.14